

一 般（個 人）質 問 通 告 一 覧 表

令和 2 年第 8 回 笠 岡 市 議 会 定 例 会

1 2 月 9 日・1 0 日・1 1 日（3 日 間）

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 原田てつよ	1 救急艇導入事業について	<p>笠岡諸島有人島 7 島に暮らす住民にとって医療の充実は長年の念願であります。</p> <p>小林市長の選挙公約としての救急艇導入については、各委員会・本会議の場で様々な議論が交わされ、本年 6 月定例会に中古船導入という具体的な案が予算として計上されましたが、船のスピードの問題と運航計画が明確なものが示されていないということで否決となりました。</p> <p>そして、9 月定例会に救急艇の新造船を建造する計画で進めたいとして、基本設計委託料としての予算が計上され可決されました。以下 2 点、お尋ねいたします。</p> <p>(1) 救急艇の建造費・維持経費・船長はじめ乗組員の人件費・諸経費を含め、年間の必要経費はどの程度とお考えなのか。</p> <p>(2) 笠岡市が救急艇を建造・維持管理・運航し、救急隊員は一部事務組合が協力と判断しています。</p> <p>現時点での一部事務組合の理解は万全なのか。</p>	市 長 〃
	2 笠岡市・里庄町相談支援センターの充実について	<p>笠岡市・里庄町相談支援センターの場所の移動については検討中と仄聞しています。</p> <p>現在、兼務となっている相談員体制の充実についてはどのようにお考えなのか、お尋ねいたします。</p>	市 長
	3 手話言語条例制定後の取組について	<p>笠岡市手話言語条例が制定されて 3 年目となります。</p> <p>職員対象の昼休憩時の 10 分手話講座の取組や、条例制定 1 周年記念行事としての講演会が行</p>	

		<p>われる等、手話に対する理解のための取組も進んでいると感じています。</p> <p>以下3点、お尋ねいたします。</p> <p>(1) 小中学校における手話の理解の取組について</p> <p>(2) 消防隊員の手話習得への取組について</p> <p>(3) 聴覚障害者のための災害用バンダナの活用について</p>	<p>教育長</p> <p>消防長</p> <p>市長</p>
2 栗尾 典子	<p>1 救急艇導入についての答弁に関する疑義について</p> <p>2 買い物弱者、交通弱者について</p> <p>3 中心市街地のグランドデザインと笠岡市の目指すまちづくりについて</p>	<p>救急艇導入において、救急体制はできており、運航体制について一部事務組合の了解を得ていることが前提で、9月補正予算案の設計委託料420万円を承認した。しかし、11月12日の一部事務組合で副管理者から、聞いている話が違う、白紙であるとの発言があったと聞いている。</p> <p>執行部が虚偽の発言をしたのか尋ねる。</p> <p>高齢化が進む笠岡市において、買い物弱者、交通弱者をどのように把握し、その対応にあたっているのか。</p> <p>(1) 島しょ部の買い物弱者について、「広報かさおか」10月号に記載があったが、文筆担当及び責任はどこにあるのか。</p> <p>(2) 島しょ部、陸地部の買い物弱者、交通弱者についてどのように把握しているのか。現在の施策、対応とその問題点は何か。</p> <p>(3) 今後予定されている施策、対応があれば尋ねる。</p> <p>平成14年笠岡駅前地区土地区画整理事業が完了して18年が経つ。道も太くきれいになったものの空き家も多く、今後笠岡中心市街地をどのようにしていこうとしているのか尋ねる。</p> <p>本庁建て替えの考えはあるのか。</p> <p>商店街を含めた駅前、駅の南、港など人の流れをどう作っていくのか。</p>	<p>副市長</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p>

		<p>中心地にある寺社を含めた文化財(近代化建築である貫閲講堂, 笠岡教会等も含む)をどのようにしていくのか, ビジョンを示していただきたい。</p>	
3 藏本 隆文	<p>1 まちづくり協議会システムについて</p> <p>2 笠岡諸島日本遺産認定後の, 笠岡市の島しょ部施策について</p>	<p>まちづくり協議会システムが始まって8年が経過している。これには毎年多くの補助金が投入されているが, 笠岡市の考えるシステムと現在の状況との検証を行いたい。</p> <p>笠岡市では, 平成16年4月, 「笠岡市みんなが輝くまちづくり条例」から始まり, 「笠岡市協働のまちづくりガイドライン」において, 少子高齢化が進み, 財政力の低下により現状のままでは市民ニーズに対応できなくなる。その解決策として「市民活動領域及び協働領域の拡大」により維持しようとして述べている。それを具体的に実行するにあたり, 平成22年1月「笠岡市地縁組織との協働システム構築計画」を策定している。</p> <p>これは, 「笠岡市自治基本条例」に掲げた自治の基本である「市民自ら考え, 自らの責任のもとに行動すること, すなわち市民主体の自治である」の理念に合致したものであり, 笠岡市の行政運営の核とされている。そして平成24年4月に市内24のまちづくり協議会がスタートしている。</p> <p>(1) 笠岡市は, このシステムにどのような理想を描いているのか具体的に説明していただきたい。</p> <p>(2) 理想と現在の状況の違いについて尋ねる。</p> <p>(3) 今後の計画について, 時系列的にどのように行うのかを尋ねる。</p> <p>この度笠岡諸島全部が日本遺産認定された。コロナ禍で, 今まで思い描いていた計画が変更を余儀なくされているが, このような時だからこそ, この状況を受け入れた上で現状を分析し, 笠岡市の将来に繋がる施策を展開してもらいたい。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>現在，笠岡市商工会議所主催で『「日本遺産」推進会議』が毎月開催され，交通・PR・宿泊食事の3部会が積極的に活動している。そこには，笠岡市，笠岡市議会も参加させていただき，お互いの取組を出し合っている。</p> <p>笠岡市議会では，2年前から各委員会で，1～2年をかけてテーマを決め，政策提言，政策立案を行っているが，我が厚生産業委員会では，2つのテーマを決め，その1つは，「笠岡諸島日本遺産認定に対し，島しょ部の観光・産業の発展」を掲げ，現在各島のチェックを行わせていただいている。</p> <p>笠岡市も，コロナ禍中，終結後に分け，行政としての力強い施策を打ち出していくべきと考える。</p> <p>(1) 当初の計画が，コロナによってどのように変わったのかを尋ねる。</p> <p>(2) コロナがいつ終結するかわからない中で，コロナにだけ責任転嫁はできない。この状況下での施策及び終結後も見据えての施策の策定は行っているのか。</p> <p>(3) コロナの影響で始まった在宅ワークも現在では当たり前になってきている。最近では，リゾート地での在宅ワークを採用する企業も増えていると報道されているが，笠岡諸島に誘致するにはインターネット環境が最大のネックとなる。また，定住促進，観光客誘致に対しても大きな障害となるが，この点についてどのように考えているのかを尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
4 山本 俊明	1 令和3年度の予算編成と笠岡市の運営について	令和3年度予算も各課の積み上げを終えて，財政課長，総務部長の査定の段階に入っていると思います。令和2年度はコロナウイルス感染対策のための補正の編成，実施は職員にとって	市 長

		<p>も通常業務に加え加重業務であったことは間違いありません。そのことがコロナウイルス蔓延の中で危機を回避し、笠岡の市民生活に直結し、安全を守っています。</p> <p>しかし、大都市を中心に各地で止まらない感染拡大は地域経済を疲弊し、好調だった地方税収は一転して大幅な減収の見通しとなり、加えて少子高齢化に歯止めがかかる兆しはなく、自治体行政サービスの水準をどうやって維持していくのか模索が続くと報じられています。</p> <p>そこで令和3年度をスタートとして、各種事業、第7次総合計画の見直しの必要があると考えますが、このまま進めるのか、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい出口が見えない状況ではありますが、市長の考えを尋ねます。</p>	
<p>5 大本 邦光</p>	<p>1 投票率向上につながる施策について</p>	<p>近年、若者をはじめとする有権者の投票率が低下傾向にある中、有権者が投票しやすい環境を一層整備し、投票率の向上を図っていくことは喫緊の課題ではないでしょうか。2016年7月の参議院選挙から選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられました。有権者一人一人に着目した、さらなる投票機会の創出や利便性の向上が求められます。</p> <p>国と地方が協力して、啓発活動に取り組むとともに、各自治体においても先進事例を参考に、さらなる投票率向上のための積極的な対策を進める必要性があります。</p> <p>(1) 最近では、投票日当日ではなく、期日前に投票を済まされる方が増加傾向にあるように思われます。また、新型コロナウイルス感染防止を促す選挙ということもあり、3密を回避する意味においても期日前投票が注目されています。選挙権年齢が満18歳に引き下げられた選挙から、本市の投票率の推移と</p>	<p>選挙管理委員長</p>

	<p>2 地域を守る 建設土木工事 の担い手を育 てる公共工事 の平準化につ いて</p>	<p>期日前投票率の推移はどのような傾向にあるのかお示してください。</p> <p>(2) 期日前投票は若い方が、仕事や旅行などの理由で利用される方が大半を占めていましたが、最近では高齢者の方も早めに天気や体調に合わせ、期日前投票される方などが増えているように思われます。それだけ、期日前投票が定着してきたのだと思います。ただし期日前投票宣誓書に記入しなければなりません。いくら簡素化になったとはいえ、高齢者や障害者の方々にとっては、手が震え緊張したとの戸惑いの声がありました。そこで、期日前投票宣誓書を投票所入場券の裏面に印刷し、事前に自宅で記入できるよう、併用する取組についてお尋ねします。</p> <p>(3) 投票率向上の施策として、期日前投票所を大型商業施設等に設置することです。</p> <p>昨年、4月の統一選挙と7月の参議院選挙では岡山イオンや倉敷イオンで期日前投票ができるようになりました。本市においても大型商業施設等で設置する可能性についてお尋ねします。</p> <p>近年、大規模災害、大規模水害と想定を超える自然災害が頻発しています。これからの自然災害に対して、住民の安全を確保し被害を最小限に食い止めるためには、地元の建設業者の協力が不可欠です。少子高齢化、人口減少社会において、地域の人材確保が年々難しくなっている中で、建設業界の活性化による担い手確保のためには、公共工事の平準化が必要であります。</p> <p>公共工事の平準化により、地元の技術者や技能者は、年間を通して安定的に仕事ができ、計画的な休日取得なども可能になります。また事業者の機材の稼働率向上により重機等の保有も促進さ</p>	<p>選挙管理 委員長</p> <p>〃</p>
--	---	---	------------------------------

		<p>れ、地元地域の建設業者の災害への即応能力も向上します。さらに、行政にとっても、発注職員等の事務作業が一時期に集中することを回避することができると思われま。</p> <p>(1) 予算は単一年度で完結するのが原則ですが、大規模な工事など、単年度で終了せず後の年度にわたり支出をしなければならない事業には、債務負担行為が設定されています。道路の舗装工事や修繕工事など短期で行える事業においても、平準化を踏まえ年間を通して必要に応じて事業を進められる体制を整えておくことは、市民の安全を守る上で大切なことでもあります。そこで、幹線道路や橋梁など長期工期を要する工事だけでなく、生活道路の舗装工事、修繕工事などにも債務負担行為を設定し、年度をまたぐ工期で発注できるようにすることも必要と考えますが、見解をお尋ねします。</p> <p>(2) 公共工事の平準化を図るために、「ゼロ市債」を活用する自治体が増えています。ゼロ市債とは、通常、新年度に発注する工事を前年度中に債務負担行為を設定し、現年度中に入札、契約を締結することにより、年度内、または新年度早々の工事着手を可能とするものです。そこで、「ゼロ市債」の活用について、本市の現状と今後の方針をお尋ねします。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
<p>6 山本 聡</p>	<p>1 人口上昇を目指す地域づくりについて</p>	<p>(1) 2018年12月改定の人口ビジョン「笠岡市人口の現状分析の結果」によると、自然動態が減少傾向にあること、すなわち合計特殊出生率の減少及び高齢化が進行していること、社会動態は下げ止まりつつあるも、依然として減少傾向にあること、また晩婚化、未婚化が進み、併せて雇用の場の確保が難しくなり</p>	

		<p>つつある、などに起因し、生産年齢人口は減少しているとしている。</p> <p>笠岡市が将来にわたって持続するためには、自然動態、また、若年女性を中心とした社会動態のいずれもが増加する必要があると提言されている。</p> <p>(ア) 第7次総合計画では社会動態(転入-転出)は2019年には下げ止まり、プラスに転じるとの予想である。現在、企業誘致には成功したが、笠岡市の人口増に繋がっていない要因は何か。</p> <p>(イ) 企業誘致の際、社員寮、社宅を併設、あるいは市内に建設し、固定資産税の減免措置を講じるなど優遇措置などが考えられないか。</p> <p>(2) 中国地域創造研究センターによる「中国地域白書2020 出生率上昇を目指す地域づくり」では、地域の産業、業種のバランスが取れていることが出生率にとり重要であると指摘。また、白書では、岡山県の高中生調査において、地域の子供経験及びコミュニティー活動が子供を持つことへの意欲を高めると分析する。東京への進学を考える女子には結婚、出産を優先しない傾向があることが報告されている。地元でのライフコースの提案が必要であるほか、高度な教育を受けて専門的な職につくチャンスを地元の生徒たちに届ける必要があると提案している。</p> <p>また、魅力ある仕事の創出や、一層の人口減少、高齢化を前提として、中心市街地への集住化等において、行政サービスの効率化の視点だけでなく、少子化対策の観点からまちの利便性や魅力の維持・向上を図る取組も求められるとしている。</p>	<p>関係部長</p> <p>”</p>
--	--	--	----------------------

		<p>二者択一(若者, 特に女性がライフコースの実現と結婚や子供をもつことの選択)をしなくて済む地域づくりについて, 次の2点を尋ねる。</p> <p>(ア) 親との同居・近居などに対する補助金</p> <p>(イ) 学生のIターン, Uターン者に対する助成(金), 学資補助</p> <p>(3) 新型コロナウイルスの感染症の拡大は, オンラインによる在宅勤務を一気に拡大した(一種のパラダイムの転換)。</p> <p>あらゆる産業分野で働き方のDX(デジタルトランスフォーメーション, ITの浸透による構造変革)が進み, 就業形態の柔軟化や在宅勤務の定着が進んだ。</p> <p>(ア) この機を捉え, 過疎化の進む島しょ部へのソフトハウスなどの企業誘致を進められないか。(出生率は上がり, 人口増, 活性化につながる端緒となりうる)</p> <p>(イ) 島しょ部へは情報のインフラを整備する必要があるが, 若年層の定着, 定住の可能性は高いと考えられる。</p> <p>インフラ整備の予定を伺う。</p> <p>※今は, IT業界になじみの薄い高山市(飛騨)でも仕事ができるんです/</p> <p>2020. 11. 24 日経</p> <p>観光政策を単なる旅客の誘致策にとどめず, 地域の在り方そのものや住民の郷土愛のようなものに結び付けるアプローチが必要と考え, より広く市民ぐるみの大きなテーマとしてとらえ, 直す契機としてコロナ禍をとらえたい。行政の体制について, 次の2点を尋ねる。</p> <p>(1) 笠岡市観光連盟の戦略について</p> <p>(2) シマヲカナデルのバックアップ体制について</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p>
--	--	---	--

<p>7 桑田 昌哲</p>	<p>1 ごみ事業について</p> <p>2 コロナウイルス第3波に対して</p>	<p>笠岡市は一般廃棄物処理基本計画を策定。『環境型社会』形成イメージでの4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の推進を実施している。</p> <p>平成30年から新たに第2次笠岡市一般廃棄物処理基本計画でごみ排出抑制目標を定め、計画を進めている。</p> <p>計画の進捗状況と、一般廃棄物内の対象物、固形状のものについての抑制状況についての確認と減量をどのようにしていくかの方向性と、トータル的な改善案について、以下3点について尋ねる。</p> <p>(1) 第2次笠岡市一般廃棄物処理基本計画で、ごみ排出抑制目標見直しまであと約2年に近づいていますが、現在の状況はどのような感じなのか。</p> <p>(2) 家庭ごみの減量をする上で、1つの減量案でごみ袋有料化を言われている。メリットとデメリット、それ以外の基本的な考え方の本市見解について</p> <p>(3) 事業ごみへの減量を考える、事業ごみ減量化連絡会議を実施しているが、どのようにして減量化を目指せる事案が出ているのか。</p> <p>全国で第1のニュースになり、第3波といわれている現在、笠岡市のGOTOキャンペーンも継続されている中、発症者は『0』である。ただ、この状況がどれだけ続くのかも疑問視され、なおかつ、これから年末年始を迎える時期となる。感染が拡大している地域から帰省者が多くなる。</p> <p>基本、体調不良者等は掛かりつけの医師から保健所なり、帰国外来へ連絡となる。入院となると以前言われていた市民病院になるのか。</p> <p>現状のコロナ患者に対し市民病院・救急体制について尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
----------------	---	--	------------------------------

		<p>(1) 市民病院にコロナ発症者病棟を作るとい う見解がありましたが、現在どのようになっ ているのか。</p> <p>病棟・病床数・対応者・機器材状況等気にな る点であるのだが、市民病院での受け入れ はどの程度の患者の受け入れを想定してい るのか。</p> <p>(2) コロナ感染の疑いがある人の救急体制に ついて、妊婦さんや特定疾患を患う患者さん が救急を要請した場合、救急対応がどのよう に進んでいくのか尋ねる。</p>	市 長 ”
8 仁科 文秀	1 シティセー ルスについて	<p>日本創成会議の発表では、全国で 896 の自治体 が消滅可能性都市といわれ、残念ながら笠岡市も その中に入っている。全国の自治体は住民から選 ばれる対象となるため、他市町との差別化を図り 人口減を食い止めようと努力し、自治体のイメー ジ向上に取り組んでいる。</p> <p>(1) 三島市長時代には、庁内にシティセールス 検討チームを立ち上げ、笠岡市の対外的な認 知度アップやイメージ向上に力を入れてい た。</p> <p>笠岡市を市内外に売り出すために、現在、 どのように取り組んでいるか、またその成果 は出ていると思うか、尋ねる。</p> <p>(2) 笠岡市民や笠岡出身の人たちが地元を誇 りに思い、愛情を込めて古里を発信する取組 を、行政だけでなく、民間企業や市民が気持 ちを合わせ協力してもっと行うことができ ないか、尋ねる。</p> <p>(3) 現状の笠岡市のHPやFBなどのSNS について、本市としてどう評価しているか。</p> <p>また、今後もっと笠岡を売り込み知名度を 高めるために、SNSをどう生かしていくの か、尋ねる。</p>	市 長 ” ”

	<p>2 文化振興について</p>	<p>(4) 笠岡を知ってもらいアピールするために、古城山公園の存在は大きい。 今後の古城山公園の振興、整備の計画を尋ねる。</p> <p>(5) 市長が目標とする社会動態の改善は今後進んでいくのか、尋ねる。 文化の振興は金もうけにならないが、人の心を豊かにし、生まれ育った笠岡を理解し、知らなかったことに気づかされ、郷土愛を生み育てる大切な取組である。</p> <p>(1) 市内各地で地域の文化や歴史などを調査研究し、小冊子にまとめる活動がある。 これらを全市的にまとめ、市内外に紹介することはできないか、尋ねる。</p> <p>(2) 笠岡市の文化度を上げるために、取り組んでいること、今後取り組もうとしていることがあるか、尋ねる。</p> <p>(3) 昨年、市長は竹喬美術館所蔵の作品を市内の公民館などへ出張展示した。絵画鑑賞の機会を設けることで、市民の絵画への興味関心を高め竹喬美術館へ訪れてもらうことを目的の一つにしたと言われていた。 出張展示の実施により、竹喬美術館への入館者は増えたか。また、この出張展示について、笠岡市としてどう総括されているか、尋ねる。</p> <p>(4) 10月3日から12月6日までの2か月余りに渡って、郷土館では「笠岡諸島 高島と神武東遷伝説」の企画展が開催された。高島に関心を持ってもらうよい企画であった。 期間中の入館者数は何人か。また、もっと見ていただけるように移動展示をすべきではないか、尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>”</p> <p>教育部長</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>”</p>
--	-------------------	---	--

	<p>3 公共工事の 予算の確保と 工事の平準化 について</p>	<p>(1) 今年の、特に夏以降はイノシシの被害が尋常ではなく、地域住民から再三にわたり、道路や水路の修繕要望が寄せられている。</p> <p>例年と比較しても相当件数が多いことや予算の残額がなく、業者の対応が追い付かないことなどから、地域の要望への対応を断ったり、延期したりするケースが増えている。一刻も早い対応を望みたいが、考えを尋ねる。</p> <p>また、今後のイノシシ被害の対策と予算づけについて、産業部と建設部、それぞれの基本的な考え方を尋ねる。</p> <p>(2) 今後、新型コロナウイルスの影響などによる歳入減で全市的な予算規模の縮小が予想され、公共工事についても影響が懸念される。年間を通して市民の要望に応え、工事を進められる体制をとるために、一定の予算を確保することと、次年度以降において経費の支出を伴う債務負担行為の適正かつ積極的な活用が望まれる。</p> <p>考えを尋ねる。</p> <p>(3) 公共工事は年度末に集中するのが一般的になっている。通常、新年度に発注している工事について、支出を伴わない債務負担行為を現年度中に設定し、現年度中に入札し契約を締結することで年度内や新年度早々の工事着手が可能となる。</p> <p>ゼロ市債といわれるこの方法の活用について尋ねる。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>9 真鍋 陽子</p>	<p>1 新型コロナ ウイルス感染 拡大による笠 岡市内におけ る地域経済へ</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大が続く状況の中、笠岡市内における地域経済への影響をどのように把握しているのかを尋ねる。</p> <p>(2) 今後、笠岡市としてどのような支援策を予定しているのかを尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>

	<p>の影響について</p>	<p>(3) 新型コロナウイルス感染拡大による経済支援については短期的・直接的なものも非常に大切だが、長期的・間接的な施策について考えていくことも重要だ。今後笠岡市内における観光客の増加、かつ、その際の訪問先の分散化を図るため、海沿いに立地し、瀬戸内海の風光明媚な景色を楽しむことのできる旧大島東小学校のさらなる有効利用を考えていただきたい。</p> <p>現在は浄化槽、耐震の関係で施設としての活用が制限されているが、内閣府地方創生推進室から出ている「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事例集」内にある「地域の魅力磨き上げ事業」などを活用することにより、旧大島東小学校にさらに人が集うことのできる環境を作り出していくことはできないかを尋ねる。</p>	<p>市長</p>
	<p>2 ふるさと納税について</p>	<p>(4) 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、各種学校行事が中止、または形を変えて行われていることによる児童生徒に対する影響をいかに把握し、考えているか。また来年度の各種行事をどのように行っていこうと検討しているかを尋ねる。</p> <p>(1) ふるさと納税制度とは何か。</p> <p>(2) 自主財源を増やす取組として重要視しているふるさと納税制度を今後どのように運営していこうと考えているか。</p> <p>そのビジョンを尋ねる。</p> <p>(3) ふるさと納税の商品として、選んでくださる方に時間と選択の幅をより多く与えることができるよう、また、笠岡市にふるさと納税をしようアクセスして下さった方々が「一度笠岡に行ってみたい」と思えるような市内観光パンフレットを兼ねたカタログ</p>	<p>教育長</p> <p>関係部長</p> <p>市長</p> <p>”</p>

	<p>3 気候変動対策について</p>	<p>ギフトを製作することは考えられるかを尋ねる。</p> <p>(1) 100年に1度, 50年に1度といわれている激甚災害が日本国内において毎年のように起こっている。その原因の1つが地球温暖化といわれており, 様々な気候変動対策が各自治体において取り組まれている中, 2020年7月末, 岡山県知事が2050年CO₂ゼロ宣言自治体として宣言を行った。その後菅首相は10月30日に脱炭素社会実現について言及されている。</p> <p>笠岡市として今後, 2050年に向けてゼロカーボンシティ宣言, あるいは脱炭素社会を目指す宣言を市として行う予定はあるのかを尋ねる。</p> <p>(2) 脱炭素社会の実現, ゼロカーボンシティを宣言することは確かに大切であるが, さらに求められることは, 脱炭素社会に向けての実効性ある具体策を提示していくことだ。</p> <p>2050年における脱炭素社会に向けて具体的な計画, または今後実践しようと考えている具体策はあるかを尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
	<p>4 2020年10月25日投開票岡山県知事選について</p>	<p>(1) 10月25日投開票岡山県知事選挙における最低投票率について, 選挙管理委員会としての所見を尋ねる。</p> <p>(2) 年代別投票率を見ていくと, 18歳選挙権が始まって以来すべての選挙において18歳から19歳の投票率において著しい下降が見られる。</p> <p>10代, 20代に向けて実際の選挙を活用した, 開票風景を見学できるイベントなど, 行うことはできないか尋ねる。</p> <p>(3) 身体に障害のある方, 介護が必要な方が決められた投票所に行くことができない場合</p>	<p>選挙管理委員長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>にできる郵便投票について、さらなる啓発ができないかを尋ねる。</p> <p>(4) 投票困難層に呼びかけるだけでなく、行政が有権者に近づいていくためにグリーンスローモビリティなどを利用し「出前投票」や「移動投票所」を検討できないかを尋ねる。</p> <p>(5) 投票の重要性をさらに市内にて啓発していくために、コンビニや個人商店などにもポスターの掲示、チラシの配布などをお願いしていくことはできないかを尋ねる。</p>	<p>選挙管理委員長</p> <p>〃</p>
5	笠岡市内における火災件数の推移について	<p>(1) 笠岡市内に発生する火災について、令和元年は1年で22件だが、令和2年は11月30日現在46件である。</p> <p>倍近く件数が伸びている原因を尋ねる。</p> <p>(2) 平成6年に飛びぬけて多く火災が発生した理由を尋ねる。</p> <p>(3) 火災警報器設置義務化が始まった平成18年6月1日の前年より火災件数はおしなべて減少している。が、電化製品の寿命は大体10年であり、当時設置された火災警報器が電池切れになってくる時期になっている。</p> <p>市として火災警報器の電池切れなどについて啓発を行う予定はあるのかを尋ねる。</p>	<p>消防長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
6	笠岡市民病院小児科について	<p>(1) 井笠地域における笠岡市民病院小児科の役割をどのように捉えているのかを尋ねる。</p> <p>(2) 地域医療構想に照らし合わせた時、笠岡市民病院小児科は「公立・公的医療機関等において地域の民間医療機関では担うことのできない医療機能」であり「診療実績も十分にある」と判断できると考えている。</p> <p>執行部の見解を尋ねる。</p> <p>(3) 地域で安心して子育てをするためにも、笠岡市民病院小児科の機能を地域に残し、さらには小児科を独立したセンターとして機能</p>	<p>市長</p> <p>副市長</p> <p>市長</p>

	7 特別支援教育の充実について	<p>させることにより、医療・療育・教育をつなぐ役割を担っていくことを今後検討できないかを尋ねる。</p> <p>(1) 拡大教科書とは何かを尋ねる。</p> <p>(2) 笠岡市内における拡大教科書の利用状況を尋ねる。</p> <p>(3) 拡大教科書を希望する可能性のある児童生徒に対する告知をどのように行っているのかを尋ねる。</p> <p>(4) 個別支援計画とはなにかを尋ねる。</p> <p>(5) 笠岡市内において個別支援計画は保護者と共有はできているのかを尋ねる。</p> <p>(6) 保護者の希望があることが大前提の上で、個別支援計画を学校と個別の学習支援を行う放課後等デイサービスが共有することは可能かを尋ねる。</p>	<p>教育長 関係部長</p> <p>〃</p> <p>教育長 関係部長</p> <p>教育長</p>
10 森岡 聡子	<p>1 コロナ禍における福祉の現状と対応策</p> <p>2 有害鳥獣強化対策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界中に広がり、多くの感染者と死者を出している。身近に迫る感染の不安の中で「新しい生活様式」が福祉サービスにもたらす問題点の実態と影響、今後の対応等について尋ねる。</p> <p>(1) 高齢者、障害者の介護事業所の市内の状況について</p> <p>(2) 通所事業所について</p> <p>(3) 職員への影響について</p> <p>(4) 新型コロナウイルスの影響で介護事業所への補助制度の導入について</p> <p>(5) 収束が見えない状況下の中で、再開も視野に入れた地域活動について</p> <p>農水省と環境省は、11月からの狩猟期間中心に「集中捕獲キャンペーン」を展開し捕獲活動の強化を推進している。</p> <p>これまでにない新たな取組である。広域連携も視野に入れていかなければならないと考える。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>次の2点について尋ねる。</p> <p>(1) 広域駆除対策協議会について</p> <p>(2) 地域住民組織としての任意団体の方向性、助成制度について</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大が特に女性の生活や雇用に深刻な影響を与えている。</p> <p>次の3点について尋ねる。</p> <p>(1) 外出制限でのDV増加や育児や介護に携わる女性が解雇の対象になっている現状について</p> <p>(2) 非正規で働く女性の雇止めについて</p> <p>(3) 地域をリードする女性農業者への支援やその育成方針、施策への参画について</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>
3	女性活躍推進について		
4	人材育成からつなぐ持続可能なまちづくりについて	<p>本市における笠岡商業高校、笠岡工業高校は県より「高等学校魅力化推進事業(リジョーナラルモデル)」の指定(3年間)を受けていると聞いている。</p> <p>近隣の自治体でも支援していると仄聞するが、本市の支援として、次の2点について尋ねる。</p> <p>(1) 本市として各校の魅力づくりのための支援について</p> <p>(2) 本市として学校と地域をつなぐコーディネーターについて</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
5	篠坂スマートインターチェンジについて	<p>国土交通省は「ETC搭載専用のスマートインターチェンジを山陽自動車篠坂パーキングエリアに新設することを西日本高速道路に許可した」との報道があった。</p> <p>今後のスケジュール等を示していただきたい。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>市長</p>